

# SA 吹田通信 第36号

2006年5月

発行 SA吹田事務局 〒565-0806 吹田市榎切山21-D-808 TEL/FAX 06-6876-1659

## はじめまして SAグループ18です!



たじりしょう (SA18期)  
太治利昌

私たちは、この春SA講座を修了した吹田市に在住する18期生です。受講当初は、37名という大所帯だったので、先輩の皆様方と同様にA・B2班に別れて活動することになり、A班は「SA修了者が取り組み可能な、地域における新たなボランティアニーズの発掘」というテーマで、また、B班は「自主防災コミュニティ作り」と「出前ボランティア」という二つのテーマを設定して活動を行ってまいりました。この間、関連施設の見学やヒアリングのほか、先輩の皆様が実施されている行事にも参加させていただき、数々の有益かつ、適切なお助言をいただきました。

先輩の皆様方のご協力のお陰で、五里霧中のボランティア活動について理解を深めることができましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、講座終了後の4月に、私たちはA・B両班を合併し、「SAグループ18」として発足、5月からいくつかのボランティア活動を開始することにしております。

グループ同のボランティア活動に取り組もうとする意欲は、極めて旺盛ですが経験が少ないため、今後いろんな点で先輩諸氏のご指導・ご協力を賜らねばならぬことがあるものと思われまます。どうかその節は、これまで同様、暖かい目で私たちの活動を見守り、折に触れて有益なアドバイスを頂戴いただければありがたいと思っております。



ニューフェイスの29名が一致協力して、これから積極的かつ果敢にボランティア活動に取り組んでまいります。

先輩の皆様 どうぞよろしくお導きください。 (SAグループ18会長)

## ~ 「万博グリーンフェスティバル・おもちゃづくり」

### に参加して ~

河内 義明 (SA17期)

5月の大型連休は不安定な天候が続いていましたが、5月5日の子どもの日は幸い好天気に恵まれ、万博文化園の広い「上の広場」で開催された「万博グリーンフェスティバル」・子育て応援フェスタ2006ではいろんな行事や活動がありました。

その中のSA連協コーナーでの「おもちゃづくり」活動に参加しました。

前日から準備されたテントの中で、連協の三田副理事長を中心に各地区SAからも多数参加され、朝早くから「おもちゃづくり」の準備をしました。また、地元の学生さんも何人かが応援してくれ

ました。10時過ぎから行事が開始され、大勢の小さな子ども達が父兄に伴われて、「おもちゃづくり」に汗を流していました。準備した作品は、SA連協の「おもちゃ読本」の中から「がりがりプロペラ」「はねガエル」「ぶんぶんごま」「風車」「風船細工」などなど。

やはり、いろんな色で塗り上げていく作品は、子ども達には好評で、オリジナリティな作品に塗り上げて完成した時の喜びようはまた格別です。

作品を持って帰るときには「ありがとう」のかわいい声に、こちらも頬をほころばせてにっこりと、「またね」と一言。いい交流の体験ができました。

用意した材料は終了予定時間16時までには到底もたないくらいの人気で、材料が無くなり次第の閉店となりました。

## 特別寄稿 「シロクマ君顛末記」 (^O^)/

～ 天王寺動物園への13枚目の座布団 ～

大阪狭山市 野並 亮介 (SA16期)

先日のNHK ラジオ・ニュースで、国際自然動物保護連盟が、ホッキョクグマをRed Tapeに指定したと報じていました。絶滅の危機に瀕する野生動物の保護のためですが、地球温暖化が進み野生動物の棲息の場を奪っているとも・・・。

しかし、稀少野生動物の捕獲と移動を規制するWashington条約が世界的に浸透すると、一番困るのが動物園。新しい血統が流入しなくなれば、まずは国内繁殖による動物園間の交換が進み、その結果必然的に近交係数が高くなります。つまりどこを見ても親兄弟の親戚集団が動物園の檻のなかの図式という訳です。親兄弟の存在があるならまだしも、あの立派なシロクマ舎が空っぽ状態で続いていた動物園の一つが大阪のそれでした。

そこでロシアからなんとかシロクマの購入が出来ぬものかと問合せの開始です。ところが、「各国の要望で、あなたの順番は13番目・・・」ホッキョクグマに関するロシアの最有力動物園長からの返事が、この13枚目の座布団の宣告でした。こりゃたまらん、この分では10年も待たねば・・・法令遵守のシロクマ獲得作戦はこのような状態から始まりました。いまから約22ヶ月前のことです。

こうなると暗躍するのが国際動物取引のブローカー情報、サーカス崩れのはぐれシロクマ情報、それに南半球にある某動物ワールドのBreeding Loan、つまりパンダと同じで所有権の移動しない永久貸与・・・これに飛びついたのが某県某半島にあるO水族館との噂もあります。

しかし、私たちが正攻法で偶然にも知ったのは、モスクワから1200キロ離れた小さな動物園で2004年12月3日に生まれた、シロクマの が順調に生育している情報でした。スイスの条約局にも国際登録されているこの仔グマが、1年数ヶ月経過して、ロシアのCITES局からの輸出許可も合法的に取得して、天王寺動物園にやってきたのが2006年3月15日。



民間活力の素晴らしさ、シロクマを商標とする民間団体がこのクマを大阪市に寄付するという離れ業もあって、財政難に悩む大阪市としては万々歳。大阪市の子供たちが、シロクマ舎の前で大歓声を上げて喜ぶ白熊外交が実現したのです。天王寺動物園では、一歳半のこのオスグマに早くも花嫁候補を・・と願っていますが・・さて。

## (^\_^)/~ 「すいた国際交流プラザ」(手づくりおもちゃ)

小北 月子(SA13期)

5月13日(土)・14日(日)の2日間、市役所駐車場およびメイシアターで、吹田市内の企業、諸団体が参加する第23回吹田産業フェアがあり、その一環として吹田市国際交流協会主催の「すいた国際交流プラザ」も、メイシアター2階・3階・4階で開催されましたが、その中のイベントの一つとして、13日(土)のみ午前10時より手づくりおもちゃ体験コーナーが3階ロビーにて開かれ、大勢の子どもたちに手づくりおもちゃを体験してもらいました。

当日は朝から雨が降り始め、終日の雨にもかかわらず、大勢の方々が会場に足を運ばれ、多くのイベントを楽しめました。

SA吹田おもちゃづくり市民塾塾長の丹羽さんが、このイベントの総括をされ、机7台を並べ、おもちゃづくりの幟を目につきやすい場所に立て、瀬野さん手作りの鯉のぼりを並べてつるし、会場準備をして子どもたちの来場を待ちました。

このイベントに参加するのは4回目となりますが、最初の年はサア21吹田とSA13期生のみでしたが、1昨年、昨年とSA吹田おもちゃづくり市民塾、SA16期、17期の会員皆さんの参加を得て一段と充実し、大勢の子どもたちにも十分対応できるようになりました。今回は昨年の反省から、おもちゃの材料を各自多めに準備しました。

雨のため、子どもたちの参加が少ないのではと心配しましたが、室内で楽しもうとする人が多かったようで時間がたつにつれて、昨年を上回る多数の子どもたちが押し寄せました。

当日のおもちゃは、紙ひこうき(山地さん) ふわふわひこうき(河田さん) ぶんぶんごま・ストロートンボ(高橋さん、服部さん、丹羽さん) 円形ひねりかざぐるま(永江さん、梨木さん、田村さん) 球形ぶんぶんごま(多村さん) カップごま(瀬野さん、森山さん、櫻原さん) はと笛(阪本さん、小北) 午後からは午前中のボランティアを終えられた八木さん、中谷さんがクリオネで参加されました。どのおもちゃにも子どもたちの列が出来、並んで順番待ちをする姿が目立ちました。このイベントで心に残る出会いがありました。小学校低学年の女の子で、球形ぶんぶんごまにタコ糸を通すのに苦労していました。余ほど手伝って通してあげようかと思いましたが、何度も失敗を繰り返しながらもこちらの手助けを求めることなく、時間はかかりましたがとうとう最後まで自分ひとりでやり遂げました。思わず彼女に拍手を送りました。子どもたちが、一生懸命自分ひとりで完成させようとしているとき、大人は余計な手を出さず、励ましながら我慢して見守ることも必要であることを教えられました。自分で完成させたおもちゃを手に、笑顔でお礼を言って帰っていく子どもたちを見て、このイベントに参加できて本当に良かったと思いました。

午後3時前、十分に数を準備してきたはずの材料がすっかりなくなり、終了することになりました。参加した子どもたちの数は約150名かと思われます。

当日は混雑しており、SA吹田の名前を存じ上げない会員の方の参加も多かったように思われます。参加された方々、本当にお疲れ様でした。

**17期・18期の皆さん ご参加を !!**

**「SA連協おもちゃ教室」(SA連絡協議会おもちゃ委員会)**

SA会員の皆さんが講師となり、「おもちゃ」の紹介や、材料揃え・作り方を教わります。

平成16年6月に発足し、今年5月で12回目になります。奮ってご参加下さい。

日時： 奇数月(隔月) 第三火曜日 PM1:00~3:00

場所： いきいきエイジングセンター(シルバー・ボランティアセンター1階会議室)

〒530-0046 大阪市北区菅原町10-25

TEL 06-6311-3255 FAX 06-6311-1073

地下鉄 堺筋線・谷町線「南森町」駅下車4号出口 徒歩約6分

堺筋線・京阪本線「北浜」駅下車26号出口 徒歩約7分

J R 東西線「大阪天満宮」駅下車3号出口(エレベーター有)徒歩約8分

材料費 1回 200円 交通費 自己負担 (問合せ:16期 八木まで)

SA吹田 活動予定表(6月~7月)				
月	日	曜	行 事	場 所
6	3	土	第2回「竹の子クラブ」	10:30~12:00 山田第3小学校
	3	土	「にぎやかネット」開講式	10:00~12:00 山田東中学校
	10	土	おもちゃづくり市民塾	10:00~12:00 北千里公民館
	10	土	「みんなで楽しい土曜日にしよう」	10:00~12:00 松柏学園
	20	火	20・21・23・26日千里高校高齢者交流	10:20~12:00 府立千里高校
	22	木	22・23日 々	12:50~14:30 々
	21	水	第1回「ひがさいっ子ステーション」	13:30~15:00 東佐井寺小学校
	24	土	大池サタデースクール	9:30~11:30 江坂大池小学校
	26	月	わくわくタイム「おもちゃ館」	14:40~15:40 千里第2小学校
	28	水	「イン吹田」歌体操定例会練習会	10:00~12:00 総合福祉会館
7	1	土	第3回「竹の子クラブ」	10:30~12:00 山田第3小学校
	1	土	「にぎやかネット」	10:00~12:00 北山田小学校
	5	水	第2回「ひがさいっ子ステーション」	10:30~12:00 東佐井寺小学校
	8	土	「みんなで楽しい土曜日にしよう」	10:00~12:00 松柏学園
	8	土	おもちゃづくり市民塾	10:00~12:00 北千里公民館
	10	月	わくわくタイム「おもちゃ館」	14:40~15:40 千里第2小学校
	15	土	大池サタデースクール	9:30~11:30 江坂大池小学校
	25・26	火水	「つくって遊ぼう、手づくりおもちゃ」	14:00~16:00 竹見台児童センタ
	26	水	「イン吹田」歌体操定例会練習会	10:00~12:00 総合福祉会館

**【編集後記】** 早や6月、最高の月であるはずの5月は雨の日多く、「こどもカーニバル」も流れてしまい残念です。また日照時間が少なく、野菜も値上がりし家計をおびやかしてきました。6月1日は「気象記念日」、また日本で天気予報が最初に発表された日でもあります(明17)。6月は記念日の多い月で、同じく1日は「写真の日」、4日は「虫歯予防デー」、10日は「時の記念日」です。10代は「分」、20代は「時」、30代は「日」、40代は「週」、50代は「月」の単位で予定をたてるのが一般的だそうですが、60代70代の単位は知りません。時間の受け取りかたが、年齢に応じて加速度化していくのでしょうか。「日長きこと少年に似たり」という文句がありますが、少年のころの1日は長い。古稀を迎えんとする自分はどんな単位で予定をたてたらよいのやら。第3日曜日は「父の日」です。お忘れなく。

